

「環境と人間生活」

学校名: 千葉県立小金高等学校 名前: 椿 仁三千

対象	2年生	単元名
科目	生物基礎研究	単元名「環境と人間生活」
時間	3時間	目標
参考資料	『あおいほしのあおいうみ』 ほか	その1 海の生命と環境 その2 対馬をはじめとする海の環境 その3 千葉の海

期待できる学習効果

- ・その1 「あおいほしのあおいうみ」を読み、共有することにより、海の環境の現在の状況を学び、共有する。
- ・その2 様々ある中で対馬にしばり、ゆたかさと同時に問題点を学習する。
- ・その3 千葉県の状況をまなび、豊かな海の大切さを学習できる。

授業内容

- ・千葉は三方を海に囲まれた半島型の県です。海の資源や食品、自然など素晴らしい環境にありますが、松戸市をはじめとする東葛地区は千葉県にありながら海を意識したことはほとんどなく、千葉の海といっても観光や旅行のイメージが強くあまりなじみがないのが現状です。今回の授業では環境科学を学んだ生徒たちが海について学び、海の問題について共有し協働学習をすることにより海の問題について考えました。

フェーズ1「あおいほしのあおいうみ」の読み込み

- ① 「あおいほしのあおいうみ」を見て、自分が気になったところ、単元、キーワードなどを机上におかれている模造紙にとにかくどんどん記入していく。
- ② 模造紙に書かれた、部分を班のメンバー内で共有し、話あって、さらに気になったことをどんどん書いていく
- ③ グループで一人だけ残り、あとは他のグループをまわる。さらにグループにもどり他のグループ内容を共有（ワールドカフェ形式）



「環境と人間生活」

学校名 千葉県立小金高等学校

名前: 椿 仁三千

授業内容2

フェーズ2「動画およびオンライン授業」

- ① 立教大学の環境団体ビルダーが作成した、動画(10分程度)を視聴して、今度は付箋に気になるキーワードを書いていく。
同時にP69にある「対馬は日本で一番海洋ゴミが多い島!？」を読む。
- ② オンライン学習
対馬市役所SDGs推進課「前田 剛」氏のオンライン講義
気になったキーワードをどんどん付箋に書いていく。

フェーズ3

「浦安三番瀬を大切にする会」の方に来校していただき、
浦安の海を中心とした環境保全活動について講話をしていただく。

- ・浦安三番瀬の状況
- ・カーボンニュートラルの話 など

気がついたことはどんどん付箋に書いていく。

フェース1からフェース3へ、地球規模から地域の海への学びの変容、
最後にもう一度 地球全体の話にもどる。

「あおいほしのあおいうみ」をもう一度読み返して内容を共有する。

フェーズ4

各班でもう一度すべてのワークショップが終わった段階でもう

一度ワールドカフェ形式

今回の学習について考えたことを話し、海を大切に思う共同宣言をして終了



子どもたちの反応・感想

「生徒の感想、共同宣言より(抜粋)」

- ・千葉県の海の現状を知ることができた。千葉県は海の県だと思った。
- ・海の資源、食について知ることができた。対馬の問題は千葉の問題でもあると感じた。
- ・対馬の現状が衝撃的だった。あんなきれいな海にたくさんのゴミが漂着する現状に違和感があった。
- ・海流ゴミはポイ捨てよりも災害やその他の要因も多いのだということがわかった。プラスチック使用をゼロにするのは現代の生活には不可能。しかしできるだけ使わない、物を大切にするなどとは今日からでもできると感じた。
- ・先生が話していた「じゃ口を閉める」活動はその通りだと感じた。
- ・海を守ろうとする人たち、大切にしようと活動する人たちに感動した。

今回の「あおいほしのあおいうみ」を使った授業で、海の問題について議論し、共有できた。
生徒たちは将来社会人として世の中に出ていく。その生徒たちに今回のような海を中心として環境を考えるワークショップはとても意義があると感じています。